

# 道の駅ましこ通信

発行 NO : 7 駅目 発行日 : 平成 28 年 6 月 30 日 発行元 : (株)ましこカンパニー/益子町産業建設部農政課道の駅担当  
【連絡先】〒321-4293 益子町大字益子 2030 電話:0285-72-8838 (農政課道の駅担当) ファックス:0285-70-1180

## ロゴ、初お披露目！



6月21日に道の駅登録証伝達式が行なわれ、国土交通省宇都宮国道事務所早野所長から大塚町長へ道の駅認定証が授与される様子が多くの報道機関に取り上げられました。また、登録証伝達にあわせ道の駅ましこのロゴもお披露目となりました。ロゴは型染めという技法で作られており、岩手県在住の型染め作家である小田中耕一氏（人間国宝芹沢銈介氏の弟子にあたる方）に制作を依頼しました。

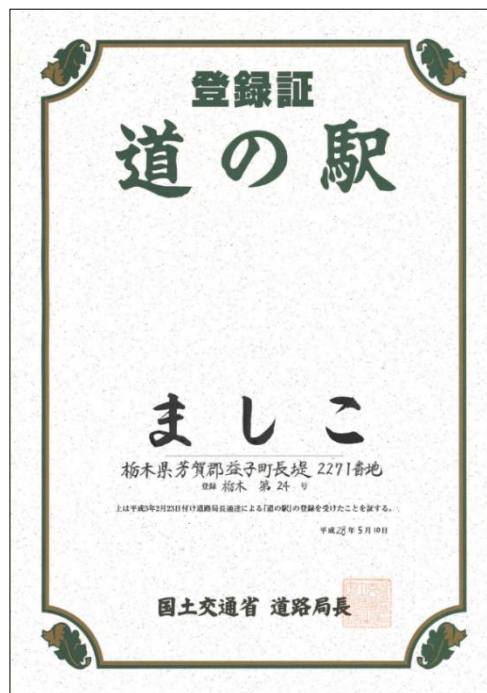
農業や作り手の多い益子町は手仕事の町、道の駅を通じてそうした町の魅力を知っていただく、益子の手仕事を手にすることができる道の駅のイメージが伝わるよう、型染めのロゴを採用することにしました。道の駅通信ではモノクロでの掲載となりますが、益子町ホームページではカラーのロゴを確認いただけますので、ぜひご覧ください。

④写真：「道の駅ましこ 登録認定証」  
国土交通省から届いた認定証には登録日、登録番号が記載されています。  
道の駅オープン後は施設内に飾る予定です。

道の駅ましこ、カウントダウン  
オープンまで、

## あと 106 日！

(平成 28 年 7 月 1 日現在→平成 28 年 10 月 15 日 OPEN)



— 今月の道の駅通信 もくじ —

- 道の駅ましこロゴ決定・認定授与式
- 小麦プロジェクト、ブルーベリーブランド協議会
- 道の駅の準備のあれ・これ
- ましこのマルシェ 6月のご案内

# 道の駅をきっかけに6次化と農商工連携を

## ～地域の素材をみんなで考えよう～

道の駅をきっかけに益子だからできるブランド化の取り組みがあるはず！ましこのマルシェの運営をきっかけに益子町内の農家さんの生産状況や加工事業者さんの商品アイテム数を段々と把握することができています。

また数字的な把握はもちろん、店舗を構えたことで農家さんや加工業者さんと話し合うなかで具体的な取り組みのテーマが明確になりました。その具体例として、お菓子や麺類などに活用される「小麦」、収穫量や生産者数が増えつつある「ブルーベリー」に焦点をあて、生産から加工、販売という町内流通をより深める取り組みを進められればと考え、道の駅へ向けての検討状況をご紹介します。

### 小麦プロジェクト ～益子の小麦でパンを焼くためには～

益子町の6月の風景は麦秋。麦畑が多いという印象をお持ちの方も多はずです。栃木県は二条大麦が日本一の生産量を誇り、大麦・小麦など麦類という大きい分野での生産も全国的なかで比較的生产量多い特徴があります。

麦の栽培が盛んなことから、直売所でも地産の小麦粉を手に入れることができ手打ちうどんやそばの繋ぎに利用されることが多く、味も良いことから食卓に並ぶ料理として人気があります。一方で、飲食店や事業者向けとしてパン用・麺用など品種によってたんぱく質の成分量は異なるため、地産の小麦粉はあっても実は用途に適した小麦が入手しづらい状況にあるようです。

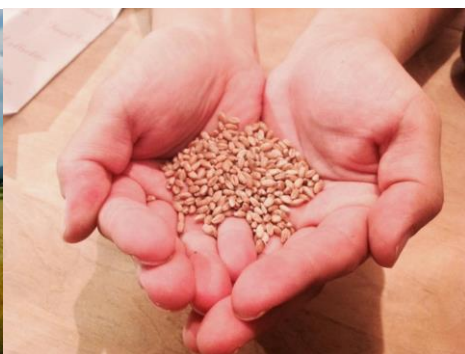
今回の小麦プロジェクトは生産・製粉・加工（カフェ・パン屋）などそれぞれの事業者が集まり栽培環境、製粉ロットや製粉機の性能、供給量と使用量のミスマッチという生産から消費までをつなぐ流通の側面で課題があることが分かりました。今後は流通面での課題の克服についても話し合いを進めながら、小麦料理の試作も合わせて行なう予定です。

益子町内で栽培される小麦の品種とその特徴

品種	特徴
農林61号	うどん用小麦。香りが良いため北海道小麦に混ぜ、パンに利用されることがある。農林61号単体でパンを作るとふくらみづらい。粉の香りを活かしてお好み焼き、たこ焼きなど粉物料理にも最適。
タマイズミ	準強力粉。パンやそばのつなぎに使用する
ゆめかおり	強力小麦。パン専用小麦



④ 益子の麦秋、道の駅の事業地で撮影



⑤ 製粉前の小麦



⑥ 出来立ての山型パン、良い香り

### ましこブルーベリーブランド協議会発足

益子町は隠れたブルーベリーの産地です。ましこのマルシェだけでも生産者は11名を数え、このほかにも町内には数軒の農家さんが栽培に取り組まれています。益子町内は比較的ブルーベリーが手に入りやすい環境が整いつつあり、また、益子町内にはカフェや飲食店が60軒以上あり、その飲食店の中でもスイーツやパンを扱う店舗が多く、ブルーベリーは益子町という地域イメージと相性が良い農産物と言えるのではないのでしょうか。

この協議会では品質向上のため、ブルーベリーの粒の大きさ・容器の統一・オリジナルロゴ・価格、町内加工事業者との連携として干しブルーベリーや粉末にするなど、生食以外の加工方法の検討をこれから進めていく予定です。

### 益子町内でのブルーベリー栽培の背景

ブルーベリーの品種は多く品種改良が進み毎年新品種が生まれており、町内でも様々な品種が栽培されています。ブルーベリーは大きく2つの品種に分けることができ、ハイブッシュ系とラビットアイ系のものがあります。

6月からハイブッシュの収穫が始まりブルーベリーのシーズンがスタートします。粒は大きく滑らかな舌触り、果実のジューシーさと風味を楽しむことができます。ましこのマルシェには500円玉と同じサイズのブルーベリーが出荷されたこともあります。その荷姿のインパクトと味の良さから非常に人気がある品種です。

8月上旬から収穫できるラビットアイは、ハイブッシュに比べると粒はひとまわり小さく、甘みと酸味のバランスが良く、また粒感を残したジャムやスムージーなどの加工に向けた品種でもあります。

こうした多数の品種をすでに多くの農家さんが生産に取り組まれている背景も踏まえ、道の駅ましこではスムージーやアイス・ジェラート、スイーツなど、益子産ブルーベリーを使用した商品提供を考えており、様々なメニューを試作中です。道の駅はもちろん、町内の飲食店やパン屋などのお店でも益子のブルーベリーが手に入りやすい環境づくりを協議会で検討できればと思います。

④写真「ましこブルーベリーブランド協議会発足」平成28年6月13日に関係する19名が出席



鈴なりのラビットアイ



ブルーベリースムージー



## ～道の駅の準備のあれ・これ 開設準備～

### 棚に並べる商品を確保！

道の駅オープンを目前に控え、売場に並ぶ商品アイテム数を確定する作業を進めています。農産物では出荷予測に対して農家さんのところへ伺い出荷量についてご相談させていただいています。また、加工事業者さんへ益子の素材を使用したオリジナル商品の製作連携、県内のこだわりある商品の取扱に向け、支配人はじめスタッフで手分けをして業務にあたっています。



図面に商品配置と数を仮想割当

### 道の駅ましこ出荷者募集中！

道の駅ましこの出荷者を募集しています。受付手続きはましこのマルシェで行なっています！

- ▶ 受付の品目は 「農産物」「加工品」「工芸品」
- ▶ 参加申込書に必要事項を記入いただき、ましこのマルシェに提出いただきます  
参加申込書は「出荷、納品品目」「出荷量」「納品期間」「価格」などを記載いただきます。
- ▶ 参加申込書の内容を確認ののち、契約の手続きを行ないます  
道の駅や出荷に関するご相談も随時お受けしていますので、お気軽にお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
ましこのマルシェ 7月のご案内！			9:00~15:00 道の駅ましこオープン100日前イベント！ 益子の旬の恵みをお届けします。		1	2 旬夏祭
3	4	5	6 定休日	7 泉 <sup>s</sup> ペーカリーパン 11:00頃	8	9 青空市 とっちゃん工房 かきもち・ かぼちゃドーナツ
10	11	12	13 定休日	14	15	16
17 益子 朝市	18 海の日 7:00~11:00 (夏時間) つかもと広場にて開催！	19	20 定休日	21	22	23
24/31	25	26	27 定休日	28	29	30

ましこのマルシェ(益子町益子3330-1 つかもと広場内)

TEL:0285-81-7752(9:00~17:00 水曜定休) Facebook:ましこのマルシェ(ましこのマルシェでの出来事・入荷状況など)

※表記されている予定は、告知なしに変更になることもございますので予めご了承ください。

下記の場所で道の駅通信を配布しています。また、益子町ホームページでもご確認いただけます！

■町内金融機関(足利銀行益子支店、栃木銀行益子支店、真岡信用組合益子支店・七井支店)

■益子郵便局、田野郵便局、七井郵便局、益子町商工会、益子町観光協会

■ましこのマルシェ、益子町役場ロビー・改善センター・あぐり館・中央公民館・農政課

□Facebook ページ 道の駅ましこ □益子町ホームページ 道の駅ましこ-最新情報-